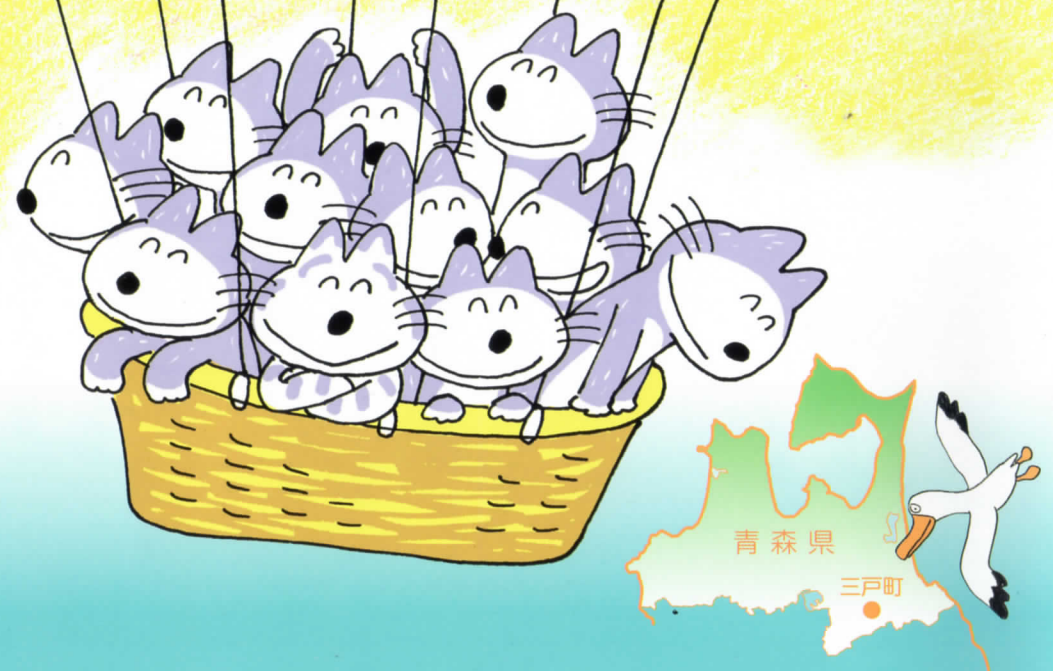


11ぴきのねこの ふるさと さんのへまち



11ぴきのねことさんのへまち

絵本『11ぴきのねこシリーズ』で知られる、漫画家馬場のほるさんは、1927年三戸町に生まれました。幼少のころから絵を描くのが好きで、三戸町には幼年期から青年期にかけて描いた三戸町の風景画や人物画、手描きのポスターなどが保管されています。

終戦後三戸町でさまざまな職業に就いたのち、1949年児童文学者白木茂氏のすすめにより漫画家になるために上京し、小学館の学年誌でデビューしました。

1950年『ポストくん』連載開始。1956年『プウタン』で第1回小学館漫画賞受賞。1973年『バクさん』『11ぴきのねことあほうどり』で文藝春秋漫画賞受賞。

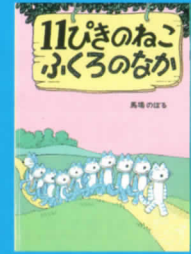
1985年絵巻えほん『11ぴきのねこマラソン大会』でポロニャ国際児童図書展エルパ賞受賞。1993年第22回日本漫画家協会賞文部大臣賞受賞。1995年紫綬褒章受章。1999年三戸町名誉町民。1967年初版刊行の『11ぴきのねこ』シリーズ絵本は計6冊刊行され、約400万部というロングセラーとして子どもたちに愛されています。2001年永眠。享年73歳。

現在三戸町では馬場のほるさんの偉業をたたえ『11ぴきのねこ』によるまちづくりに取り組んでいます。町を歩くと各所で『11ぴきのねこ』たちに会えるかもしれません。



馬場のほるさん(三戸町名誉町民)

アップルドームほのほの館
「馬場のほるの部屋」
三戸町大字川守田字元木平8-1
TEL.0179-20-1500(休館日未定)



11ぴきのねこシリーズ(馬場のほる作 こくま社刊)

交通のご案内



- 青い森鉄道 (IGR いわて銀河鉄道)
盛岡駅～三戸駅 / 1時間30分
八戸駅～三戸駅 / 30分
(三戸駅～三戸中心街 / 車で約7分)
- 東北自動車道～八戸自動車道
盛岡I.C～八戸I.C / 1時間20分
(八戸I.C～三戸町中心街 / 1時間)
盛岡I.C～一戸I.C / 50分
(一戸I.C～三戸町中心街 / 45分)
- 旅客機
千歳空港～三沢空港 / 45分
羽田空港～三沢空港 / 1時間10分
(三沢市からは、青い森鉄道三沢駅～八戸駅～三戸駅)

観光の
お問い合わせ

三戸町役場総務課
TEL 0179-20-1111(代)
TEL 0179-20-1117(直通)
FAX 0179-20-1102

歴史文化財の
お問い合わせ

三戸町教育委員会事務局
TEL 0179-20-1157
FAX 0179-20-1114

戦国期の南部氏居城「三戸城」

三戸城は、三戸南部氏により、戦国時代（16世紀中ごろ）、それまで居城としていた聖寿寺館（現南部町）の焼失に伴って、現在の三戸町中央部の独立した段丘に築城されました。城の周りには天然の堀の役目を果たす熊原川・馬淵川が流れる、標高差100メートルの天然の要害でした。後に居城は福岡城（現二戸市）を経て盛岡城へ移されますが、三戸城は御古城として城代や代官が置かれ、盛岡藩主により大切にされました。

現在は春に約1,600本の桜が咲き誇る「県立城山公園」として整備され、県内外から訪れる人々の憩いの場となっています。



名久井岳中腹からのぞむ三戸城跡



平成16年から発掘調査が行われ、これまでに知られていなかった三戸城の姿が明らかになりつつあります。



南部氏にまつわる史料のほか、縄文から近代まで多くの史料を展示している歴史民俗資料館（左）と温故館（右）



三戸城現在の石垣（鍛冶屋御門）
三戸城は、石垣が4カ所に構築されました。中でも城の表門である綱御門と、裏門である鍛冶屋御門は、城内にただ二つの出入り口であったため、大規模な石垣が積まれました。近年の調査の結果、石垣は3度にわたって積まれていることが分かりました。最初は九戸一揆後（1591年）に、蒲生氏郷が積んだもの、2回目は不明、3回目は正保3年（1644年）の大震災で崩壊した石垣を修復したものです。特に鍛冶屋御門の石垣は、これまで確認されていなかった場所からも石垣が発見され、三戸城の堅固な防備を裏付けています。



井戸跡：平成17年の調査で家臣の家敷地といわれている場所から検出されました。



時勢を見極めた智将
26代 南部 信直
天文15（一五四七）誕生、一五九九年



一族をまとめたカリスマ当主
24代 南部 晴政
永正18（一五二一）誕生、一五七七年

晴政、晴継の相次ぐ死をめくり家臣団が動揺するなか、当主の座につきま。津軽氏、安藤氏らと戦いながら、豊臣政権に帰参し、九戸氏ら領内の反対勢力を一掃しました。後の盛岡南部家の基礎を築いた信直は「中興の祖」として称えられています。

天文8年（1539）、室町將軍足利義晴から一字を受け、安政から「晴政」へ改名。京都の僧侶に「一段の輩」と評されます。糠部から岩手部へと勢力を南へ拡大し、戦国大名三戸南部氏の名を天下に轟かせました。

三戸城跡 県立城山公園 案内図



歴史好きにも
家族連れにも
楽しい公園だよ



江戸時代の絵図面をもとに復元した三戸城の姿。その地形や屋敷の配置がよくわかります。



三戸町所在文化財一覧

【国指定】

番号	名称	種別	対象文化財の所在
1	泉山の登拝行事	重要無形民俗文化財	泉山地区 (原山七才見・初参り保存会)

【国登録】

1	佐瀧本店	建造物	佐藤順一氏
2	佐瀧文庫蔵	建造物	佐藤順一氏
3	佐瀧土蔵	建造物	佐藤順一氏
4	佐瀧別邸	建造物	佐藤順一氏
5	佐瀧門及び堀	建造物	佐藤順一氏

【県指定】

1	獅子頭	県重宝 (彫刻)	個人
2	亀ヶ岡式壺形土器	県重宝 (考古資料)	個人
3	檜山御前五輪塔	県重宝 (建造物)	長栄寺
4	長栄寺正応碑	県重宝 (史料)	長栄寺
5	南部利康公位碑	県重宝 (史料)	歴史民俗資料館
6	青銅擬宝珠	県重宝 (史料)	歴史民俗資料館
7	阿弥陀如来立像	県重宝 (彫刻)	悟真寺
8	十一面観音座像	県重宝 (彫刻)	観福寺
9	桑の木	記念物 (天然記念物)	個人
10	唐馬の碑	記念物 (史跡)	下比良
11	関根の松	記念物 (天然記念物)	関根小園
12	斗内獅子舞	無形民俗文化財	斗内獅子舞保存会
13	千人塚	記念物 (史跡)	林泉寺
14	駕籠立場の一里塚	記念物 (史跡)	目時、梅内
15	斗内稻荷神社本殿	県重宝 (建造物)	斗内

【町指定】

1	月溪山龍川寺山門	有形文化財 (建造物)	龍川寺
2	梅嶺山法泉寺山門	有形文化財 (建造物)	法泉寺
3	護念山観福寺山門	有形文化財 (建造物)	観福寺
4	御野馬御用書留控	有形文化財 (古文書)	個人
5	木彫牛頭天王坐像	有形文化財 (彫刻)	熊野神社
6	城山の杉	天然記念物	糠部神社
7	松風釜	有形文化財 (工芸)	龍川寺
8	木彫弘法大師坐像	有形文化財 (彫刻)	悟真寺
9	三戸代官宛申付状	有形文化財 (古文書)	糠部神社
10	隆帯貼付文深鉢形土器	有形文化財 (考古資料)	個人
11	南部経直公墓所	記念物 (史料)	法泉寺
12	大黒天立像	民俗文化財 (有形)	個人
13	弁財天立像	民俗文化財 (有形)	個人
14	浅黄色肩二枚銅具足	有形文化財 (工芸)	糠部神社(資料館)
15	三戸城御殿釘隠	有形文化財 (工芸)	個人
16	サイカチの木	天然記念物	糠部神社
17	手・足形土版	有形文化財 (考古史料)	個人
18	三戸大神宮御輿	民俗文化財 (有形)	三戸大神宮
19	明治天皇御巡幸の図	民俗文化財 (有形)	三戸大神宮
20	明治天皇小休止の図	民俗文化財 (有形)	三戸大神宮
21	三戸県役所奉納額	民俗文化財 (有形)	三戸大神宮
22	月溪山龍川寺山門	民俗文化財 (無形)	泉山

※番号は指定及び登録順



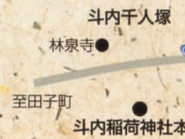
佐瀧別邸(国登録文化財)



関根の松(県天然記念物、日本名松百選)
樹齢約400年といわれます。



泉山遺跡出土
「切断壺形土器」
縄文時代後期



斗内千人塚

現代、中世、近世と三戸はこの地方の中心として栄えていきます。南部氏が居城とした戦国時代から江戸時代にかけての有形・無形民俗といった数多くの文化財が町には残されています。今なお続いている泉山の「七歳児初参り」や、大正期に建造された佐藤家建物群は国の指定・登録文化財として大切にされています。



足



手

目時中道出土
「手・足形土版」
縄文時代後期

粘土板の片面に子供の手形、もう片方に足形がつけられています。



沖中遺跡出土
「赤ちゃん土偶」
縄文時代晩期
赤ちゃん単体の縄文時代の遺物は全国でもこれだけです。



縄文のむかしから現代まで、受け継がれる歴史遺産

縄文時代から近世まで
時間旅行に出発!!



春夏秋冬を彩るさんのへの祭り

豊かな自然に恵まれた三戸町では、季節に合わせて四季折々の祭が行われてきました。

春は約1,600本の桜が咲き誇る県南随一の桜の名所「県立城山公園」で「さんのへ春まつり」が開催され、圧倒的な桜と連日のイベントで県内外から多くの人々が訪れます。

夏は目抜き通りに立てられた竹に約3,000個のちようちんが取り付けられ、夜になるとちようちんのアーケードのような幻想的な雰囲気醸し出す「さんのへ夏まつり」が開催されます。

秋は町一番の大きなイベント「さんのへ秋まつり」。各町内のきらびやかな武者絵巻の人形山車が目抜き通りを練り歩きます。冬は蛇沼地区の小中学生により「蛇沼大黒舞」が行われます。鮮やかな衣装に身を包んだ小さな大黒様が家々を門付けし、春を呼びこみます。その衣装と雪景色、そしてかやぶき屋根のコントラストに多くのカメラマンが訪れる冬恒例の行事です。

春



さんのへ春まつり

青森県南随一の名所、城山公園を中心に、4月下旬から5月上旬まで開催され、10万人近い観光客が訪れます。期間中は歌や踊りなどのイベントが連日開催され、大いににぎわいます。

夏



さんのへ夏まつり

別名提灯まつりとも呼ばれるさんのへ夏まつりは、竹に取り付けられた提灯が、アーケードのように町中心部を幻想的に照らし出します。歩行者天国はたくさんの屋台とナニヤドヤなどの踊りで盛り上がります。

秋



さんのへ秋まつり

9月中旬に開催されるさんのへ秋まつりは、各町内会の作る豪華絢爛な人形山車が町の中心街を練り歩きます。南部地方に見られる人形山車祭りの中でも、三戸のものは昔のスタイルを色濃く残しています。

冬

春夏秋冬
いつでも楽しい町だよ



蛇沼大黒舞

三戸町蛇沼地区に伝わる大黒舞。地区の小中学生を中心に、鮮やかな衣装を身につけて各世帯を訪問し、門付けを行います。その鮮やかさから、県内外から多くのカメラマンが訪れます。



斗内獅子舞(青森県無形民俗文化財)

斗内獅子舞の起源は、江戸時代三戸地方山伏の総支配を行っていた修験「斗内魔徳院」のもとに、山伏神楽として創設されたと伝えられています。

権現様(獅子頭)や面、法螺貝などはすべて古くから伝えられたもので、面には優れたものが多く見られます。

現在は、斗内獅子舞保存会が継承に努めており、神事のほか、町の祭りや行事でも、門付けとして舞が行われています。



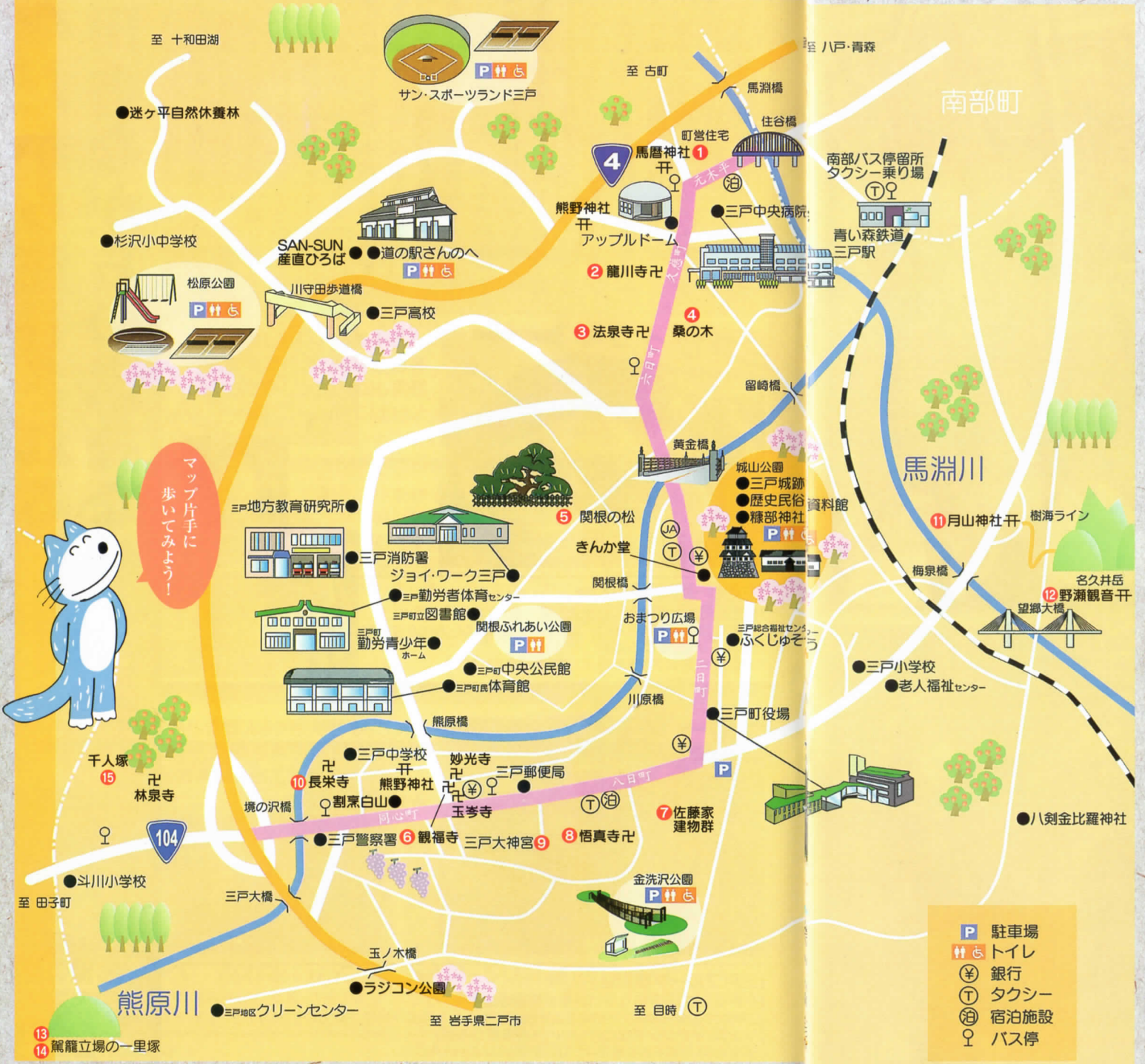
楽しい
おまつりが
たくさん!



さんのへ町歩きマップ

町のメインストリートは、江戸時代に幕府が整備した「奥州街道」です。街道沿いには寺社が多く、さまざまな文化財を見ることができます。

- 唐馬の碑**
徳川8代將軍吉宗が盛岡藩に下付したベルシャ馬の墓碑。寛保3年(1743)の建立で、国内の外国馬産に関する最古の史料。青森県重要文化財。
- 龍川寺山門**
三戸城表門の部材を転用して造られたと伝えられる山門。薬門形式。三戸町指定文化財。
- 法泉寺**
・法泉寺山門
三戸城表門の部材を転用して造られたと伝えられる山門。棟門形式。三戸町指定文化財。
・南部経直公墓所
盛岡藩初代藩主利直の長子である経直の墓所。経直は福岡城(二戸市)の城主であったが、16歳という若さで没した。法泉寺は、経直公の霊を供養するために開山された寺として伝わる。三戸町史跡に指定されている。
- 桑の木**
樹齢100年をこす桑の大木。明治~大正時代にかけ、当地方で盛んに行われた養蠶業をしるし。青森県天然記念物。
- 関根の松**
推定樹齢400年以上。ここは、江戸時代に御野馬別当を勤めた一戸五右衛門の庭園であった。青森県天然記念物。
- 観福寺**
・観福寺山門
三戸代官所の門を移築したもの。三戸町指定文化財。
・十一面観音坐像
もとは、長谷恵光院(南部町)にあったが、昭和4年(1929)に当寺に移された。寄木造で、胎内彫りに天授2年(1376)の銘がある。青森県の重宝に指定されている。
・白虎隊供養碑
白虎隊士17名の名前が刻まれた白虎隊供養碑。明治4年(1871)に旧会津藩士大竹秀義が隊士の霊を慰めるため、ひそかに建立したものと伝えられる。
- 佐藤家建物群**
大正時代に建築された建物で、本店と別邸・塀・門は西洋風造りとなっている。敷地内の5件の建物が国の登録文化財。
- 悟真寺(糖部三十三カ所巡礼の25番札所)**
・阿弥如来坐像
当寺の本尊。平安時代末~鎌倉時代初頭に作られた町内最古の木彫仏像。
・木彫弘法大師坐像
もとは、三戸町同心町に所在した正智院にあったもの。三戸町指定文化財。
・会津藩招魂碑
戊辰戦争後に亡くなった会津人の霊を弔った石碑。明治27年(1894)建立。
- 三戸大神宮**
・絵馬殿
江戸時代と近代に奉納された大絵馬を多数展示。3点が三戸町指定文化財。
・三戸大神宮御典
文政9年(1826)に寄進された御典。三戸町指定文化財。
・杉原凱の墓
旧会津藩士で日新館学館預を勤めた杉原凱は、戊辰戦争後に三戸へ移住。学塾を開き後輩を育成するが、明治4年(1871)に没。杉原を慕う弟子らが、明治19年(1886)にこの墓を建立した。
- 長栄寺**
・正応の碑
四角錐の石碑で、上部欠損。四面に梵字が一字ずつ刻まれ、東面に正応二年(1289)十二月二十一日造立之の字がみえる。青森県重要文化財。
・檜山御前五輪塔
檜山御前(秋田御前、運姫)は南部信直の二女で、秋田実季の弟英季へ嫁いたが、縁がなく三戸へ帰郷する。檜山御前は英季と離ればなれのまま、元和6年(1620)没。その後、霊を弔うため、五輪塔が建立される。青森県重要文化財。
- 月山神社**
毎年7月25日に数え7歳の男児が月山まで登拝する行事である「泉山七歳児初参り」が行われている。国の重要無形民俗文化財。
- 野瀬観音**
糖部三十三カ所巡礼の21番札所。
- 一里塚**
奥州街道の一里塚で、道の両側に土盛りの塚がある。青森県史跡。
- 駕籠立場**
奥州街道の難所である袈ヶ坂の上であり、奥州街道最も眺望の良い所。明治9(1876)、14年(1881)の明治天皇御巡幸の際、御小休所になった。
- 千人塚**
天明の大飢饉(1784)で死亡した人を弔った塚。林泉寺檀頭の栗谷川藤右衛門が私費を投じて供養を行った。青森県史跡。



マップ片手に
歩いてみよう!



きんかもち



もともとは彼岸団子として各家庭で作られていたお菓子。小麦粉を練って、中にはくるみ入りの砂糖とゴマのあんを包み込み、ゆであげる。

二日町の「きんか堂」では、名物おばあちゃんの相内トミエさんがひとつひとつ手づくりでもちを作っており遠くからわざわざ買い求める方も多い人気の商品です。

きんか堂
店主 相内トミエさん



【きんかもち提供店】

『きんか堂』 三戸町大字二日町70-1 TEL 0179-22-2740

三戸せんべい



青森県南部地方から岩手県で食べられる「南部せんべい」のなかでも、三戸せんべいはサクッと軽い口当たりが特徴。一度食べたらやめられない、そんなせんべいです。

ベーシックな薄ゴマせんべいのほか、ジュネ(エゴマ)やエビが入っていたり、辛いものがあつたりと、各店舗オリジナルのせんべいを食べるのも楽しみのひとつです。

串もち



小麦粉や米粉を練ってから、平らな丸もちにして串に刺し、ジュネ(エゴマ)みそをつけて焼いたものです。農家のお母さんが、炭火で焼く串もちは、晴れの日の行事食でもあり、また、おやつでもありました。ジュネみその香ばしさに食欲をそそられます。



【串もち提供店】

『SAN・SUN産直ひろば』 三戸町大字川守田字西張渡39-1 TEL 0179-22-3266



道の駅さんのへ ふれあいハウス

道路案内施設のほか、青森みやげや食事、さまざまな加工品を展示販売しています。

『道の駅さんのへ』

三戸町大字川守田字西張渡39-1 TEL 0179-22-0600



SAN-SUN産直ひろば

地元の新鮮な農産物や、手作り加工品を販売しています。食事どころもあり、お母さんの手作りの味も楽しめます。

『SAN-SUN産直ひろば』

三戸町大字川守田字西張渡39-1 TEL 0179-22-3266

三戸地方は気象条件によって古くから独特の食文化が培われました。名久井岳のふもとでは、寒暖の差が大きいため果樹栽培に適し、リンゴ、サクランボ、モモなどのさまざまな果物が収穫されます。また、かつては「やませ」という季節風の影響で水稲栽培が困難であったことから、麦やそばといった「粉もの」の食文化が発達しました。南部せんべいを野菜の入っただし汁に入れて食べる「せんべい汁」や「ひつつみ」と呼ばれる「すいとん」練った麦やそばを三角形に切つて茹で、ニンニク味噌をつけて食べる「つつけ」などが代表的です。近年はガムズミ果汁が健康志向からマスコミに取り上げられたり、この地方の彼岸団子「きんかもち」が漫画に取り上げられるなど、田舎ながらの素朴な味が現代の人々に注目されています。

三戸ひつつみ



いわゆる「すいとん」で、三戸の家庭ならではの料理です。肉や野菜、山菜などが入っておりおいしい上にヘルシーです。

だしにもバリエーションがあり、川がにのだしでつくる「かにひつつみ」は特に美味しく、TV等でも紹介されました。

割烹白山
専務 本庄孝浩さん



【三戸ひつつみ提供店】

『割烹白山』(かつぼうしらやま)
三戸町向心町字古間木平39-1 TEL 0179-22-2177 FAX 0179-22-2184
『SAN・SUN産直ひろば』
三戸町大字川守田字西張渡39-1 TEL 0179-22-3266

フルーツ



りんご、ぶどう、さくらんぼなど、完熟した自然の恵みのほか、ジュースや各種加工品もお楽しみいただけます。



【三戸フルーツ提供店】

『三戸リンゴ』三戸町リンゴ共防組合連絡協議会
三戸町大字在府小路町43 三戸町役場農林課内 TEL 0179-20-1155 FAX 0179-20-1112
『リンゴ、サクランボなど』『SAN・SUN産直ひろば』
三戸町大字川守田字西張渡39-1 TEL 0179-22-3266

今だから注目される 田舎ながらの素朴な味

技と味が光る
どれも良いものぞろいだ

